

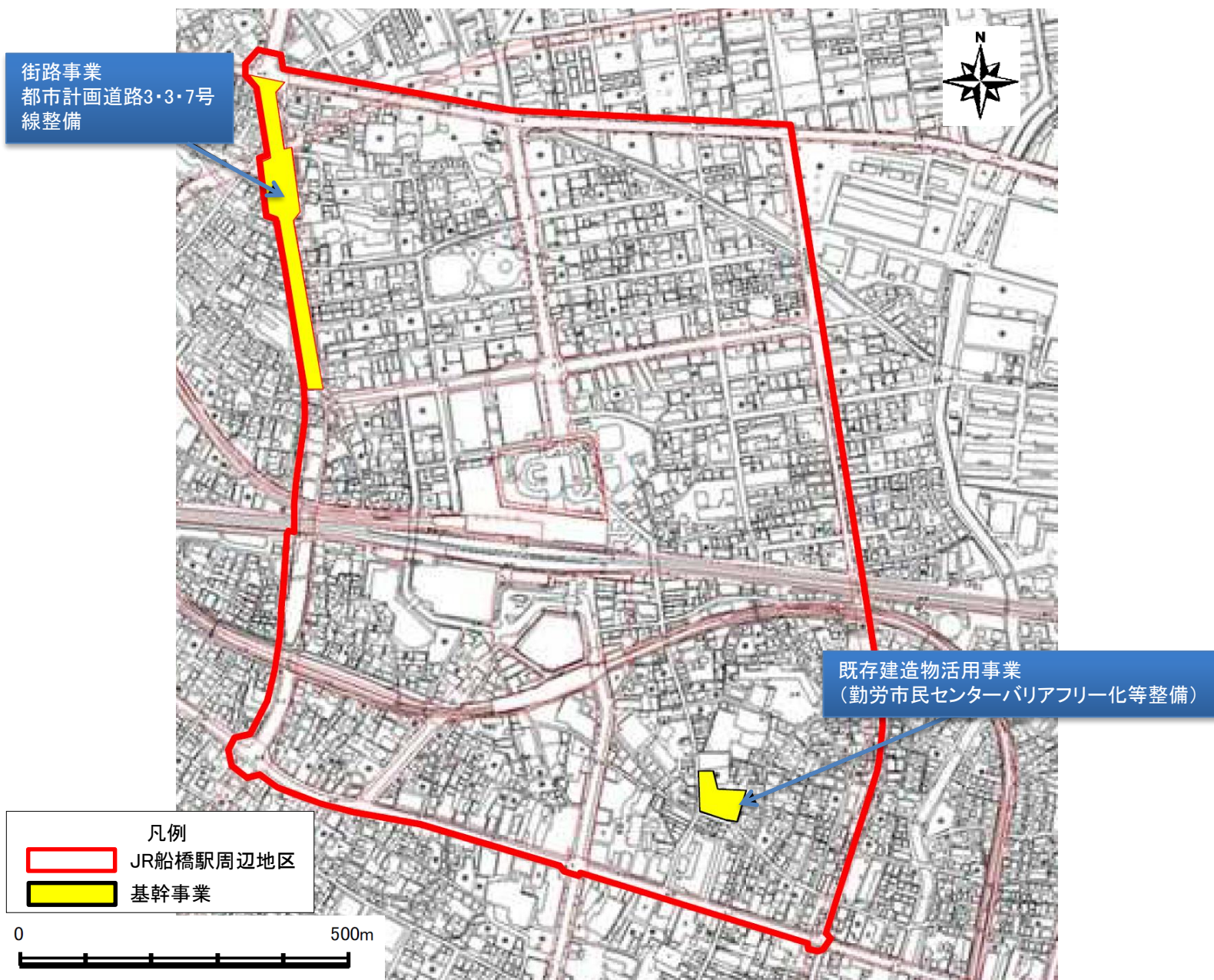
JR船橋駅周辺地区 都市再生整備計画事業 事後評価(原案)の概要

地区の概要

対象地区は以下のような地区となっています。

JR船橋駅周辺地区は、JR総武線・京成本線・東武野田線・東葉高速鉄道の鉄道4線が乗り入れており、4駅の一日平均乗降客数は約40万人を数えるとともに、12路線36系統のバスルートをもつ、県内有数の交通ターミナルとなっています。

本地区では、平成19年度から平成23年度までの第1期計画として、駅南口や周辺の道路整備、京成線接続デッキ等の整備をしました。また、平成24年から平成28年度までの第2期計画として、駅南口や周辺の道路整備、公園整備、エレベーター設置事業、公共サイン整備、ペDESTリアンデッキ整備、自転車等駐車場整備、保健福祉センター等の整備をしました。



- 地区名：JR船橋駅周辺地区
- 地区面積：68ha
- 計画期間：平成29年度～令和4年度
- 交付期間：平成29年度～令和4年度

まちづくりの課題

事業実施前には以下のような課題がありました。

本地区は、産業・文化・情報等の都市機能が多様に集積する交流拠点としての整備が図られつつありますが、**駅周辺を南北方向に縦断する幹線道路整備による都心道路ネットワークの構築やバリアフリー化も含めた安全な歩行空間の確保や、駅南口に点在している公共公益施設の建替えや更新**が必要となっています。

これらの課題を効率良く一体的に解消することにより、本市の玄関口に相応しいにぎわいと活気にあふれた中心市街地を創出し、当該地区の特性を活かした個性豊かで親しみのあるまちづくりを図ります。

まちづくりの目標

以下に示す目標に向けたまちづくりを行いました。

「本市の玄関口に相応しいにぎわいと活気にあふれた中心市街地の再構築並びに便利で快適な交流拠点づくり」

目標1: 駅へのアクセスを含む**都心道路ネットワークの構築**

目標2: **誰もが安全かつ快適に利用できる環境整備**

事業内容

目標達成のために以下の事業を実施しました。

整備方針	実施事業	
駅へアクセスする都市計画道路や駅周辺を南北に縦断する都市計画道路の整備による 都心道路ネットワークの構築 により、主要幹線道路の交通渋滞の緩和を図ります。	基幹事業	都市計画道路3・3・7号線整備事業
駅へアクセスする歩道等を整備することにより、 歩行者や自転車利用者の安全性や快適性を高めます。	基幹事業	都市計画道路3・3・7号線整備事業
公共施設をバリアフリー化等の整備をすることにより、高齢者や障害のある人も含めた すべての人の安全性や快適性を高めます。	基幹事業	勤労市民センターバリアフリー化等整備事業

都市計画道路3・3・7号線整備



勤労市民センターバリアフリー化等整備事業



目標の達成状況

以下の指標により目標の達成状況を評価しました。

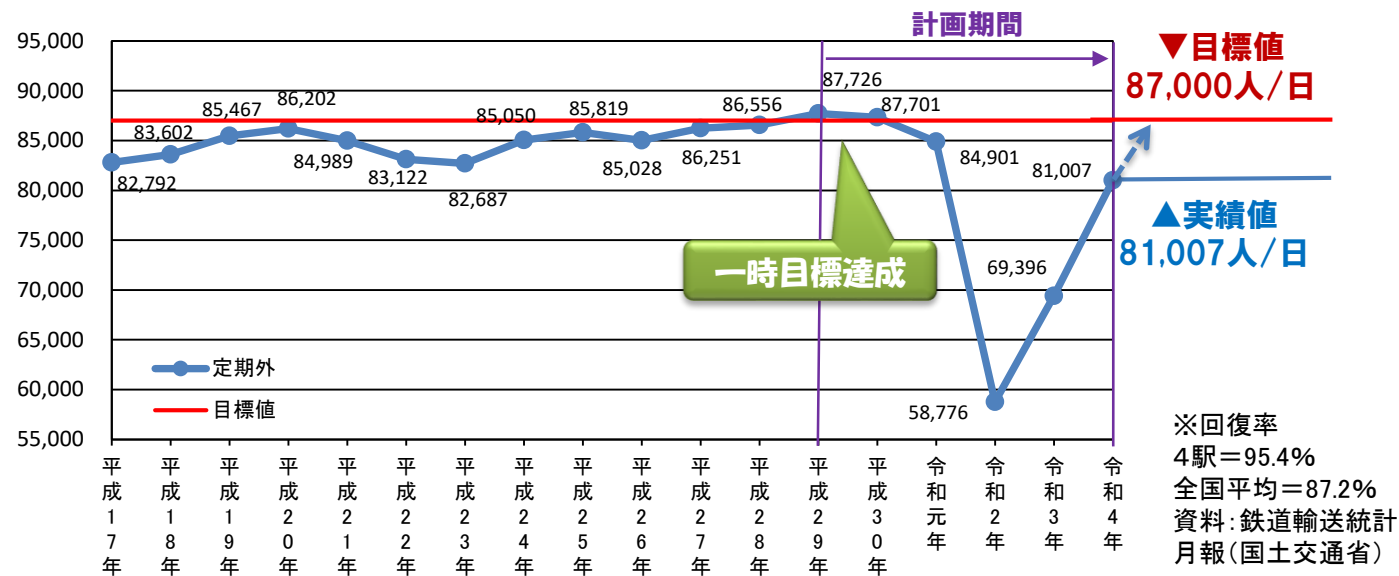
4駅定期外乗客数(人/日)

前期までの計画で実施した各種事業の相乗効果もあり、**一時目標を達成したもののコロナ禍で大きく落ち込み、現在は回復途上にあります。**令和4年度時点では目標に対して93.1%の達成率となっています。4駅のコロナ禍前からの定期外乗客数の回復率(※)は、全国平均と比較しても上回っており、今後目標を達成する見込みであるため、来年度フォローアップを実施する予定です。

【4駅定期外乗客数】

4駅(JR船橋駅、京成船橋駅、東武船橋駅、東海神駅)の定期外乗客数(≒来街者数)の合計値

資料:JR東日本、京成電鉄、東武鉄道、東葉高速鉄道



交通渋滞の緩和(混雑度)

都心道路ネットワークを形成する道路の一部完成により、**都心部の交通渋滞が改善されたことから、効果があったと考えられます。**

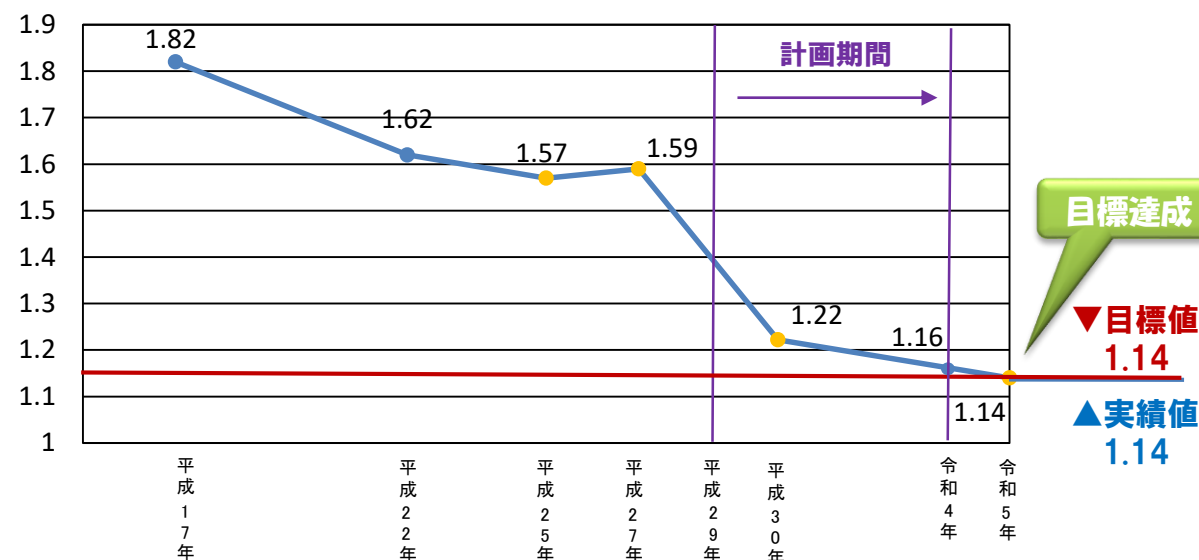
【混雑度】

地区周辺道路4か所(国道14号線、県道船橋我孫子線、県道夏見小室線、県道船橋停車場線)の平均混雑度(調査単位区間の交通容量に対する交通量の比)

混雑度=交通量/交通容量

資料:「道路交通センサス(国土交通省)」

※平成25年、27年、30年、令和5年交通量は市で交通量調査を実施



※街路事業の完了が令和5年まで延びたため、計画期間の終了時点(令和4年)は見込み値(1.16)を算出し、実績値は令和5年に計測

勤労市民センター内バリアフリー化率(%)

勤労市民センターのバリアフリー化等の整備により、令和3年度の結果と比べ、**バリアフリー化率が上がりました。**

【バリアフリー化率】

千葉県福祉のまちづくり条例施設整備マニュアルの整備項目表(建築物)(第3号様式)に基づき、勤労市民センター内のバリアフリー化の達成状況を計測

R3年度

40%



R4年度 ▼目標値 45%

46%

目標達成

整備内容

- 施設の出入口を自動ドア化
- エレベーターの空間拡大
- 音声案内の設置
- 手すり・鏡の設置

今後のまちづくり方策

評価結果を踏まえ、**今後は残された課題や新たに発生した課題に対応するために、以下のような取組を進めます。**

■まちの課題の変化

- 都市計画道路3・3・7号線の交差点改良により、**南北の交通条件が改善し、交通渋滞の緩和につながりました。**
- 勤労市民センター内のバリアフリー整備により、**バリアフリー化が図られ、利用者の安全性や快適性が向上しました。**

■今後のまちづくり方策

- 都市計画道路3・3・7号線の未整備区間について、**引き続き整備を推進し、交通の円滑化を図ってまいります。**
- 施設の適正な維持・管理**を行い、勤労市民センターを利用する高齢者や障害のある人も含めたすべての人が、今後も快適に施設を利用できるよう努めます。
- JR船橋駅南口特定街区の整備の促進など、**中心市街地としての魅力や質を向上させ、地域の活性化につながるよう支援してまいります。**